

crossing cafe

Vol.01

2023.8.1

発行: crossing cafe
毎月1日 341部発行



TOPIC



フォーチュンシアター × AKT ★☆北区 AKT STAGE

ダイアナ

脚本・演出
ブラジリー・アン・山田

息苦しいほどのシチュエーションから起こる
笑いを扱った“苦笑系喜劇”

フォーチュンシアター/シヅマ所属の佐藤拓之と、★☆北区
AKT STAGE 劇団代表の時津真人が、劇団いいのか…? の
松岡なえと共に、劇団ブラジルの名作『ダイアナ』(作: ブラジ
リー・アン・山田)に挑む。

本作は、ただ純粋に俳優の芝居だけが見たい! という思いか
ら、舞台美術なし、暗転なし、照明も音楽も極限まで削ぎ落
として、俳優3名だけの逃げ場なしの芝居として上演された。
2006年の初演以降、何度も再演されている。

今回は東京公演に加え、青森県八戸市でも上演する。



2023.08.25(金)開演19:00
26(土)開演13:00・17:00
27(日)開演13:00・16:00
会場/スペースベン
料金/一般前売2,800円
学割1,000円(前売当日とも)

チケットの購入は
こちらから



問合せ/owner@spaceben.com 080-6025-0990(田中)ショートメッセージ可

企画・制作 | フォーチュンシアター・特定非営利活動法人 北区 AKT STAGE 協力 | シヅマ・MeiMei・劇団いいのか…?・スペースベン

〈スペースベン 8月の予定〉

FANS 予定第1559~1562回「かたり場」随時開催しています

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

『ダイアナ』 08.25(金)開演19:00
26(土)開演13:00・17:00
27(日)開演13:00・16:00

〈Dance Lesson〉

- 毎週月曜日 19:00-20:00/あつし HIPHOP
- 毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL ※8/15(火)はお休み
- 最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP ※8/23(水)はお休み
- 毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス ※8/26(土)はお休み

詳細は080(6025)0990にお電話でご確認ください

〈メンバーズカード〉

チャージ可能なプリペイド
カードで、入場の際ご提示い
ただくと前売料金で入場いた
だけます。また、どの公演でも
入場料から3%値引きいたし
ます。チャージは現金でもク
レジットカードでも可能です。

〈キャッシュレス決済〉

「paypay」「LINE pay」「メル
ペイ」の他、カード払いに対
応しています。

〈Free Column〉

劇場の 片隅から

文/田中 勉
(スペースベン主宰)

八戸地元情報誌アミューズが、今年7月号をもって終刊となった。アミューズ仲尾さ
ん、山崎さん、長い間お世話になりました。様々な苦難を乗り越えられて来たでしょう
に、これも時代の流れなのか…。でも、時代の流れに抗おうとする気持ちは、私の中で
どうしてもなくなる。豊島重之さん、忌野清志郎さん、やはり私はバカなマイノリ
ティなのでしょうか。しかし、それでも、生き方は変えられないようです。演劇をはじめ
としたパフォーマンスの支援、もう少しだけ頑張ってみます。さあ、正直しか取り
柄のないバカが、仲間とともにまた新たな幕を上げますよ。

〈theater information〉



プロジェクト大山 キッズダンスワークショップ 「身体をつかって遊ぼう!」

【日時】2023.08.05(土)
16:30~18:00
【場所】はっち5階共同スタジオ
【料金】500円
【問合せ】八戸ポータルミュージアム はっち
☎0178-22-8228
ダンスで身体遊びをしよう!
ダツイーゴと一緒に踊ろう。
対象は小学生。定員になり次第受付終了
詳細ははっちホームページからご確認ください



藤原歌劇団公演「蝶々夫人」

【日時】2023.08.13(日)開演14:00
【場所】八戸市公会堂
【料金】S7,000円・A5,000円
B3,000円・C2,000円
【問合せ】日本オペラ振興会チケットセンター
☎03-6721-0874(平日10:00~18:00)

特別寄稿

演劇は風にかかれた文字

文／江渡 将(八戸東高校教員)



銀河鉄道はなんの暗喩なのだろうか。
ジョバンニとカンパネラは
それぞれどこに向かうのだろうか。



宮沢賢治の作品の持つ透明でいてどこか悲しみを含んでいる空気感を、「破稿 銀河鉄道の夜」は舞台上で醸し出す。淡々と描かれていく高校の演劇部の日常。しかし、その日常風景には、ある仕掛けが仕込まれている。

物語の舞台となるその高校の演劇部には、最近できた部訓がある。

「演劇は風にかかれた文字」

とっても情熱的でロマンチックな刺激的なワード。その言葉を叫びながら終わった舞台の脚本を破り捨てるというもの。堀田先輩のセンス、素敵すぎる！ それは次の舞台に向かうための前に進むための儀式。高校時代は柔道部だった私でも、この青春の甘酸っぱい想いに共感できる。しかし、主人公のカナエは舞台脚本を破けなかった。何故？ どうして？ その謎がサキヤトウコとの対話から浮かび上がってくる。

カナエの日常と思われていた世界は実は非日常であり、それに気がついた観客に「痛み」「悲しみ」「切なさ」として伝播される。そう、この戯曲は阪神淡路大震災があった次の年に初上演された作品なのだ。背景を読み取れば、舞台の空気は一変する。

日本は自然災害の多い国だ。地震、津波、洪水、土砂災害、台風、噴火。または疫病。

平凡なる明日がくることを疑いもせず過ごしていた日々が、前触れもなくいきなり奪われてしまう。悲劇は、いつ起きるかわからない。私達はそれをいやという程味わってきた。悲しみを幾度も経験してきた。私達はどこにも向けようもない怒りを胸の奥に抱え、慣れとも、諦めとも、覚悟ともいえるドス暗い気持ちを背負ったまま、日常を生きている。

「前に進まなきゃ」そのメッセージが私の心に突き刺さる。

高校演劇の名作のひとつ「破稿 銀河鉄道の夜」。これは、かけがえのないものを失った「痛み」「悲しみ」「切なさ」から前に進む再生の舞台なのだ。

そう、私も前に進まなきゃね。

さて、「破稿 銀河鉄道の夜」を観劇する前に、私達八戸東高校演劇部と千葉学園高校演劇部の生徒達は「いるかHotel」主宰の谷省吾氏から2日間に渡って演劇ワークショップをしていただいた。6月4日、5日の事だ。谷氏の指導は熱い。その熱血指導に生徒達はなんとか食らいついていこうとする。しかしワークショップを受けている生徒達は本当に楽しそうだった。それはそうだ。コロナウイルス感染防止対策措置で失われた3年間。こうしてプロの演劇人による指導に触れるのも初めてだろうし、他校の演劇部員との交流も久方なかったことだ。こうした機会を創ってくれたはっちパフォーミングアーツ公演事業の皆様、そして講師をして下さった谷省吾氏及びいるかHotelの皆様には感謝する。本当にありがとうございました。



「破稿 銀河鉄道の夜」
2023.6.10(土)・11(日)
八戸ポータルミュージアム
はっち 2階シアター2

●筆者近況

宮沢賢治の「永訣の朝」の痛みを抱えつつ、再雇用1年目を迎える。週の半分は一人暮らしの母と過ごすため、実家に帰っている。各方面に色々と不義理をしてごめんなさい。

FANSで上演・LIVEをやってみませんか？

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe

fanscross

crossingcafe

crossingcafe

@fanscafe



FANSってナンだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には「ここで何かおもしろい事をやっている」という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。